



デミタスカップの愉しみ

The Joy of the Demitasse Cup

2021年8月24日(火)～10月10日(日)



①アダレイ《金彩薔薇図カップ&ソーサー》1886-1905年【第2部6章:華やく技巧】

◆ 展覧会概要

濃いコーヒーを飲むための小さなコーヒーカップ「デミタス」。ヨーロッパでテーブルウェアと食文化の様式が確立した19世紀、必ずしもセットの一要素に限られることなく、カップ単独でも使用される異色な存在として現れました。この頃のヨーロッパでは中産階級が勃興し、彼らの間にコーヒー文化が浸透すると、焙煎・抽出技術も進展。多様なコーヒーの楽しみ方が広がるにつれて、デミタスカップの需要も増え、様々なデザインが誕生することとなったのです。

本展では、2000点以上のデミタスカップを所蔵する村上和美氏のコレクションから約380点を厳選して展示いたします。19～20世紀に欧州の名窯が産んだジャポニズムや、アール・ヌーヴォー、アール・デコなど当時の流行を反映したもの、日本の輸出製品、“超絶技巧”ともいえる繊細な装飾が施されたものなど、多彩なデミタスカップを紹介します。

村上氏は、有名窯に限定せず、創造性の輝く優品に注目して収集しています。村上氏のコレクションならではの客一客表情の異なる個性豊かなデミタスカップの魅力をご堪能ください。



②マイセン《貼りつけ花鳥とスノーボール蓋付きカップ&ソーサー》1860-1880年【第2部4章:かたちのお花畑】

土日祝日・最終週は日時指定制

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土・日曜日、祝日及び10月5日(火)以降の最終週は「日時指定制」を予定しております。

詳細は当館ホームページでお知らせいたします。お出掛けの際は、最新の情報をご確認ください。

◆ 展覧会構成

第1部：デミタス、ジャポニスムの香り

19世紀半ば以降、万国博覧会をきっかけに日本の美術品は大ブームとなり、日本的なモチーフやデザインを模倣、吸収して新たに生み出された様式がジャポニスムです。第1部では、17世紀に始まるシノワズリの流行から、19～20世紀に欧州の名窯が産んだジャポニスムやアール・ヌーヴォー、アール・デコと、時代ごとのデミタスカップのデザインの変遷をたどります。さらに明治以降の日本製のデミタスカップも併せてご覧いただけます。



③スポード《金彩花卉文蝶ハンドルトロンブルーズ形カップ&ソーサー》1790-1820年
【第1部1章:シノワズリの流行】

シノワズリ（中国趣味）と日本の伊万里の金襴手（金彩模様のある色絵磁器）の影響を受けた華やかな一客。蝶の形をしたハンドルにもご注目ください。



④ミントン《金彩梅花と格子文カップ&ソーサー》1882年 【第1部2章:ジャポニスム(2節:梅、桜)】

ミントンの特徴的な空色で、日本の貼り混ぜ屏風の色紙の重ねのように文様を描いています。余白に描かれた梅にも日本の工芸品の影響が感じられます。



⑤リタケ《薔薇文金点盛カップ&ソーサー》1891-1915年
【第1部3章:日本製のデミタス】

金地に描かれるのは赤いバラ。白地に金点盛の装飾とともに、華やかな中にかわいらしさもある一客です。



⑥ロールストランド《とんぼ文カップ&ソーサー》1897-1910年
【第1部4章:アール・ヌーヴォーへ】

淡い色彩が白地に溶け込むような美しい一客。1900年頃にデザインされたティーセット「とんぼ」のシリーズで、アルフ・ヴァランデル（1862-1914）によるデザイン。とんぼの胴の部分ハンドルになっています。



⑦ソーホーポタリー《「パーム」カップ&ソーサー》1930年代 【第1部5章:アール・デコのデミタス】

「パーム」とはアブラヤシのこと。この時代にブームとなったエジプトや南米の異国の植物をモチーフとしています。円錐形のカップと直線的なハンドルは、それまでにない幾何学的なデザインです。

第2部：デミタス、デザインの大冒険

第2部では、デミタスカップの様々な装飾方法や形、機能など、デザインにご注目いただきます。清涼感が際立つガラス製のデミタス、飲み物と食べ物を片手で持つことを考えて作られた機能的なセット、ユーモアあふれる大胆な形、“超絶技巧”ともいえる繊細華麗な装飾が施されたものなど、デザインへの飽くなき追求が伝わる数々のデミタス。まさに「デザインの大冒険」です。



⑧サルヴィアーティ、1800年代後期
【第2部1章:ガラス製のデミタス】

ガラス製のデミタスは熱いコーヒーに向かないことを考えると、これらは鑑賞用か、もしくは水出しのコーヒーやカフェシケラート（エスプレッソと氷をシェイクしたもの）などに使われたのかもしれませんが。



⑨ロイヤルドルトン《花束文金彩テニスセットカップ&ソーサー》1891-1902年
【第2部2章:機能のかたち】

本作のように、ソーサーが大きく作られたセットは「テニスセット」と呼ばれています。テニスやパーティーの場で飲料とスナックをひとつの器で持ち運ぶことのできる機能的なものです。



⑩ロイヤルバイロイト《「キャベツとロブスター」カップ&ソーサー、ミルクピッチャー》1902-1920年代
【第2部5章:これなに?のかたち】

キャベツのカップとソーサーにロブスターのハサミのハンドル、ミルクピッチャーにはロブスターが喰らいついているという、なんともダイナミックな一点です。



軟質磁器にエナメル七宝を施す、ブリカジュール (plique-à-jour) の技法で彩られています。高度な技術が必要なこの技法は、中国の玲瓏磁器（蛍焼き）から発想を得たとされ、アール・ヌーヴォー期のヨーロッパで流行しました。



⑫ロイヤルウスター（ジョージ・オーウェン）
《金彩ジュール透かし彫りカップ&ソーサー》1880年頃
【第2部9章:デミタスの愉しみ、デミタスの喜び】



①カミーユ・ボド《ブリカジュール草花文カップ&ソーサー》1900年頃
【第2部9章:デミタスの愉しみ、デミタスの喜び】



透かし彫りの名工、ジョージ・オーウェン（George Owen）による本作は、繊細な透かし彫りと柔らかな色合いが美しい逸品です。

◆会期中イベント

◎記念講演会「魅惑のデミタス—秘められた歴史、技法から収集まで」

講師：岡部昌幸氏（本展監修者、帝京大学教授、群馬県立近代美術館特別館長）

9月5日（日）午後2時～（約1時間30分）地下2階ホール

*無料（要入館料）*定員30名（申し込み先着順）

*事前申し込みが必要です。「デミタス展9/5講演会」係まで

◎特別イベント「集めて愉しむデミタスカップ」

所蔵者の村上和美氏を迎え、ご所蔵のカップ&ソーサーを拝見しながらデミタスカップの魅力についてお話を伺います。

9月20日（月・祝）午後2時～（約1時間）地下2階ホール

*無料（要入館料）*定員15名（申し込み先着順）

*事前申し込みが必要です。「デミタス展9/20イベント」係まで

◎特別講座「日本のコーヒー文化のはじまり、明治の輸出用洋食器」

講師：大平奈緒子（本展担当学芸員）

9月26日（日）午後2時～（約1時間）地下2階ホール

*無料（要入館料）*定員30名（申し込み先着順）

*事前申し込みが必要です。「デミタス展9/26講座」係まで

○学芸員によるギャラリートーク

8月29日（日）、9月11日（土）、10月1日（金）

各日午後2時～（約30分）

*無料（要入館料）*事前申し込みの必要はありません

◎事前申込◎

「記念講演会」「特別イベント」「特別講座」

往復はがき、または当館ホームページの日時指定予約サイトにて、〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号をご記入の上、各イベント係まで。1通につき1名まで申込可能。予約完了メール「@airrsv.net」と「@shoto-museum.jp」が受信できるようにドメイン設定をお願いいたします。

※会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。

※本展会期中は、毎週金曜日の夜間開館及び館内建築ツアーは中止いたします。

◆開催概要

展覧会名	デミタスカップの愉しみ The Joy of the Demitasse Cup
会期	2021年8月24日(火)～10月10日(日)
開館時間	午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
入館料	一般800円(640円)、大学生640円(510円)、高校生・60歳以上400円(320円)、 小中学生100円(80円) *()内は渋谷区民の入館料 *土・日曜日、祝休日、及び夏休み期間中は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料
休館日	月曜日(ただし9月20日は開館)、9月21日(火)、24日(金)
主催	渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛	ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
特別協力	リポリアンティークス、ロムドシン
会場	渋谷区立松濤美術館 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 電話: 03-3465-9421 https://shoto-museum.jp

土日祝日・最終週は日時指定制

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
土・日曜日、祝日及び10月5日(火)以降の最終週は「日時指定制」を予定しております。

詳細は当館ホームページでお知らせいたします。
お出掛けの際は、最新の情報をご確認ください。

会期・時間・イベント・入館方法等、変更の可能性があります。最新の情報は当館HP等でご確認ください

交通案内

- 京王井の頭線 神泉駅下車徒歩5分
 - JR・東京メロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分
- ※駐車場はございません。

◇次回展のご案内

渋谷区立松濤美術館 開館40周年記念

白井晟一入門

第1部 2021年10月23日(土)～12月12日(日)

第2部 2022年1月4日(火)～1月30日(日)



報道関係のお問い合わせ

広報担当 西・木原(pr-sma@shoto-museum.jp)

展覧会担当: 大平(ohira@shoto-museum.jp)

平塚(hiratsuka@shoto-museum.jp)

電話: 03-3465-9421 FAX: 03-3460-6366

- * 画像をご希望の場合は、作品名の前にある番号をお知らせください。チラシの画像もご使用いただけます。
- * 画像の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 画像のご利用後、データは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、一度校正をお送りください。
- * 掲載後、見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。